

# 南の躍動

奄美のよさを生かした活力ある教育の充実

大島教育事務所 令和2年8月31日

【奄美市】  
小湊厳島神社の木造弁才天坐像



## 学力向上に向けて

<このような授業をしていませんか？>

令和元年度鹿児島県学習定着度調査において、大島地区が県平均との差が最も大きかった中1数学（県71.3 地区68.4 差-2.9）において、県との差が最も大きかった問題（県58.3 地区49.6 差-8.7）

○ 次の数量関係を不等式で表せ。

1個60gの品物a個をb gの箱に入れて重さをはかったら、重さの合計は500gより重くなった。

- 正解： $60a + b > 500$       ○ 実態：大島地区の中学1年生の半数がこの問題ができない。  
 ○ 教師「○○君1個60gの品物a個の重さは？」      生徒「 $60a$  gです。」  
 教師「重さの合計だからこれに何を足せばいいの？」      生徒「箱の重さb gです。」  
 教師「 $60a + b$ が500gより重いんだから符号は？」      生徒「>です。」

教師が学級全体に答えに幅のない閉じた発問を投げかけ、教師の発問に答えた生徒（理解できている生徒）だけの答えを都合よく拾って、学級の生徒全員が理解できたと考えて先に進んではいけないでしょうか。

中学校数学を例にあげましたが、このような授業スタイルは、どの校種・教科においても散見されるように思います。知識のみを問う一問一答のワークシートによる授業も同様であると思います。上記のような問題であれば、例えば、「自分が考えた答えの導き出し方をノートに書いてごらん。」というような授業にすれば、上記のような授業に比べて思考力・判断力・表現力等も育まれます。どの校種・教科においても、演習問題等を活用しながら、日々の自分の指導法を見直し、児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせるための指導方法の改善に取り組むことが大切です。

<「書くこと」や「確かめ見届け」を重視した授業づくりを！>

児童生徒が授業において習得した知識・技能を定着させ、活用できるようにするためには、毎時間の「学習のまとめ」や「振り返り」といった「確かめ見届け」が重要です。また、学習の各過程において「書く活動」を重視することは、児童生徒が思考を整理して表現することにつながるため、思考力や表現力を育むために必要な活動です。各学校において授業中における「書く活動」と授業の終末段階の「確かめ見届け」を充実させていきましょう。



コアティーチャーネットワークプロジェクトにおける授業づくりの様子（8月20日）

## 令和2年度大島地区人権教育授業実践研修会

7月28日(火)に、宇検村、瀬戸内町を対象として、宇検村生涯学習センターで実施しました。授業は、宇検村立田検小学校の上山教諭に6年生社会科の授業を録画したものを提供していただきました。直接教材を扱う単元において、差別の不合理さ等を考えさせる、大変示唆に富んだ提案授業でした。今後の人権教育が一層充実するものと期待します。

## 奄美の文化財等

### 小湊厳島神社の木造弁才天坐像

小湊厳島神社の木造弁才天坐像は、木彫りの十六童子像で、奄美市名瀬の小湊集落にある「小湊厳島神社」の御神体として祀られています。この地域では、子宝の神様として信仰されており、現在でも、各地からお参りに来る方がいます。

仏像が入っていた黒漆塗りの厨子には、朱漆で寛政3年(1791)の墨書があり、「大島古見方筆子 恒雲」と書かれていますので、その頃に小湊へ寄進されたものだと考えられます。

このような木造の仏像は、奄美群島でも珍しく昭和47年3月2日に奄美市指定文化財となっています。

## キャリア教育の充実

今年度から各学校において「キャリア・パスポート」の活用が始まっています。自校の特色を生かし、児童生徒が自らのキャリア形成を見通し、自己実現につなぐものとなるよう、改善を図りながら活用してください。また、小中高で効果的に引き継ぎがなされるよう連携を図ってください。



## 学びの組織活性化に向けた取組（奄美市立名瀬中学校）

6月30日（火）に、名瀬中学校の研究テーマである「一人ひとりの学びを高める授業」づくりを目指し、同校の嶽教諭に社会科の授業を提供していただき、研究授業及び授業研究を行いました。

研究授業に参加した職員の学びが深まるように、授業者・学習指導係・職員研修係が連携し、模擬授業や他クラスでの事前授業を経て、指導案を練りあげるとともに、研究授業参観の4つの視点（①教室の雰囲気や生徒の様子、②生徒の学びの成立、③教師と生徒、生徒と生徒の関係、④教師の指導技術）を提示し、その視点を生徒の姿から見取る研究授業参観が行われました。特に素晴らしかったのは、授業研究の際に各グループの生徒の学び合いの様子の記録を基に、生徒の姿で学び合いが活性化した場面と活性化しなかった場面を比較し、職員同士による深まりのある話合いが展開されていたことです。

その後、県教育庁義務教育課峯元指導主事に指導助言をいただき、今後の同校の取組について全体で実践と研究を重ねていくことを確認しました。

学力向上に向けた授業改善の組織的な取組が行われている名瀬中学校の今後の姿がとても楽しみです。

## 学校における業務改善アクションプランへの取組について

### 目標達成スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度
正規の勤務時間を超える勤務は月45時間以内	達成率を100%に近づける		
教職員の80%以上が「業務改善が進んでいる」と実感	達成率 60%以上	達成率 70%以上	達成率 80%以上

### 昨年度の大島地区における達成状況

- 正規の勤務時間を超える勤務は月45時間以内  
→ 達成率 71.2%（9月～2月の平均）
- 教職員の80%以上が「業務改善が進んでいる」と実感  
→ 達成率 57.6%

### <目標達成に向けて>

各学校の現状や課題を明確にしたうえで、4つの重点（①業務改善に対する意識改革 ②事務の負担軽減と専門スタッフの活用 ③授業準備の効率化と時間確保 ④部活動に係る勤務状況の改善）に応じた具体的な取組を進めていきましょう。

### <取組実践例>

#### 「学校における業務改善」

#### 「与論町立与論中学校」の実践紹介

##### 効果が期待される取組

- 校長通信による業務改善における意識改革
- 毎週水曜日の定時退行日（「家庭学習の日」）の完全実施
- 退行時刻の見える化による意識向上（「かえるボード」の活用）
- データの共有化（校務分掌フォルダの有効活用）

##### 実施前の課題

- 退行時刻についての意識の向上を図る必要があった。
- 資料等の管理が曖昧だったため、全職員が共有できるデータ管理が必要であった。
- 部活動における活動日や休日が部活動によって異なっていたため、学校全体として統一する必要があった。



##### 実施後の成果

- 定時退行日の完全実施や「かえるボード」の活用によって、見直しをもって校務にあたるようになった。
- 全体で共有しているデータを年度、分掌ごとに整理したことにより、時間を効率化することができた。
- 週休日の部活動と特殊業務手当を関連付けることで徹底できるようになった。

#### 業務改善を目指した取組の詳細

- 1 校長通信による業務改善における意識改革  
定期的な様々な情報発信を行う中で、「業務改善」の必要性の共通理解や、「質の高い教育」を目指すための業務の簡素化・効率化、業務改善の意識化を図っている。
- 2 毎週水曜日の定時退行日（家庭学習の日）の完全実施  
これまで、各部活動によって活動日や休日が異なっていたため、令和元年度から毎週水曜日を「家庭学習の日」と定め、部活動の休業日とし、職員は定時退行日と設定した。
- 3 退行時刻の見える化による意識向上（「かえるボード」の活用）  
一日の見直しをもって校務を遂行するために、令和2年度から「かえるボード」を作成し、出勤簿の横に退行時刻を見える化することで職員の意識向上を図っている。
- 4 データの共有化（校務分掌フォルダの有効活用）  
全職員のデータを共有するために、年度・校務分掌・教科ごとにフォルダを作成し、これまで使用していた資料や教材を有効活用できるように整理した。

##### 今後の課題、計画

- 正規の勤務時間を超える勤務を月45時間以内としていくために、校務内容のスリム化や会議等の削減、校務支援システムの導入等を図っていく必要がある。
- 業務の効率化を図るとともに、行事の精選や校表等の工夫等を行い、細部にわたる業務改善を推進していく必要がある。



## 大島地区 臨時的任用教員（初年度任用）研修会

8月19日（水）に大島地区における臨時的任用教員（初年度任用）研修会を大島支庁本館で実施しました。23人の先生方が参加され、「教育公務員の使命とサービス」、「生徒指導」、「学校保健・安全」、「特別支援教育」、「人権教育」、「学習指導、複式学習指導」の講義と担当教科の授業づくりに関するワークショップを行いました。参加された先生方からは以下のような感想が出されました。

「心に響く言葉は、子供の心に響くのはすぐではないかもしれない。何年後かに響くこともある」という言葉に救われた。あきらめずとことん子供と向き合っていこうと思えた。

物語文や詩の授業は、自信が無く、指導書のまま授業をして子供たちの反応がよくなく、申し訳なさがあったが、ワークショップを通して早く授業を試してみたいとなった。